

## 寄せられたご意見等一覧

氏名	意見
A氏	<p>①市の歴史、文化財について 蓮田では、黒浜貝塚などが文化財の宝庫と言ってるらしいですが、近隣の大地では縄文時代の土器など発掘はわりとよくあるらしい。伊奈町のように学校の空教室を利用して（関山などからも発掘しているらしいと聞いてますが？）展示したらよいと思う。 ちなみに、白岡市や伊奈町は、徳川幕府の財政基盤となった水田開発等の伊奈忠次や井沢弥惣兵衛をイチオシしているようです。縄文時代の土器も発掘しているらしいですが、それほど重要視していないようだ。</p>
A氏	<p>②超少子高齢化になっている蓮田について 蓮田は駅の位置や、市役所がかなりずれたところにある特殊な市であると思います。白岡駅やニューシャトル利用者も多く、駅を中心と考えず、多方面で若い世代を誘導していくことも考えた方がよいと思う。（他にインターのある川島付近など） 山口市長は東京から40kmをPRしているようですが、駅周辺は空いている土地はわずかです。1F商業施設で上マンションのような都市型にしないかぎりむずかしい。市内の小学校は生徒数が極端に少ない学校もある。白岡や伊奈町は行政がちがうのでバス便がないので、多少不便を感じるだけ。蓮田駅に行くよりはよっぽど近いという地域もある。</p>
A氏	<p>③農業について ②のような理由で市街化調整区域が多い市であると思う。杉戸、白岡、伊奈町、さいたま市など地産地消、マルシェが時々開催されるらしい。直売所もなくなったのでマーケット的なマルシェは良いと思います。地元の農業委員さんが言ってるんですが、122号は交通量が多すぎるとのことでした。旧122号からも入れる所の方がよいと思います。※道の駅の場合です。 産業団地なども税収源としては必要です。そのためにはまず道路を考えていただきたいです。 こんなのいちいち見て書く人はめったにいないと思います。委員会や審議会のメンバーはどのように選んでいるのか知りませんが、各地域自治会や自治会の推薦の方がよろしいと思いますが…。 ←コレです。選挙に選ばれた人がやりたいようにやれるは、時代おくれの蓮田町です！ いろいろすみません！！</p>
A氏	<p>・市のコンパクトシティ構想について 最近橋の老朽化についてや立地適正化計画、他に水道管、学校の老朽化もそうでしょうが、人口が減るからといって単純に昔にもどすのは不可能だと思います。あたりまえですが…。昔と今では道路事情や状況がちがってきています。立地…などは、南新宿や西新宿のもとと白岡駅の利用者が多く平野地区や上関戸の方などは、シャトルの駅がちかいので、白岡駅のちかくやシャトルの駅に近い方へ誘導して、蓮田→白岡、羽貫、内宿をバスでむすんだ方がいいかと思います。スーパーも白岡、伊奈町利用していると思います。これ知らない人が委員とかに選ばれているのではないかと疑問に思うのですが？ 委員会を一度傍聴しましたが、この人たち蓮田全体がわかっているの？と思うような新人議員さんと欠席者2名で質問らし質問もなく意見もない！ 職員さんは楽でいいと思いますが、あとでツケが回ってくると思います。 地元代表の議員さんがいなくなってる今、各地域ごとに代表者2人（自治会や推薦する人）を入れたらどうかと思うのですが。（黒浜新旧2名、蓮田2名、関戸2名、いずれにしても住民協議の上決定してほしい。平野2名など人口より面積で） 人口減にライフラインの老朽化にサブアリーナは税金のムダだと思います。 H23年に2000余名の署名の要望書があったと市のツイッターで流れてましたが、とうじのスポ少の人たちにきいてみましたが、そんなの知らないと言っていました。代表者が勝手に出しただけだと思います。 乱文、乱筆すみません！</p>

氏名	意見
B氏	1. P16, P18、P19、P20合計5箇所にツイッターという製品名表記であり、SNSに変更すべき。
B氏	2. 土地利用の基本方針については、以下のようなコメントを記す。 第4章 1 土地利用の基本方針関係 住居系ゾーンでは、空き家の利活用対策が盛り込まれていないが、喫緊の課題ではないか。少なくとも良好な住環境整備の観点から、その取り組みについて記述すべき。
B氏	商業系ゾーンでは、豊かな地域資源を活用し、地域ブランドの創出や地域産業のさらなる発展のため、商業の活性化を図り、地域の活力を高めるまちづくりを進めます。 蓮田駅周辺を中心商業地ゾーンに位置づけ、駅利用の利便性を向上させながら土地の有効利用と都市機能の集積を図り、賑わいを創出します。と記述されているが、そもそも地域資源が定義されていないこと、地域の活力を高めるまちづくりの例もないこと、合わせて、どのような賑わいを創出するのか、具体的に方向を明示すべきではないか。
B氏	工業系ゾーンでは、東北自動車道蓮田サービスエリア（下り線）周辺の工業団地は既存の環境を維持し、高虫地区の一部は産業団地整備を推進し、周辺環境に配慮した適正な土地利用を誘導します。根金地区周辺においては、都市計画法第34条第12号に基づく区域指定等を活用し、企業立地を誘導します。交通の利便性に優れているという立地条件を生かし、企業の誘致を促進するとともに雇用の創出を図ることで、地域の活力を高めるまちづくりを進めます。と記述されているが、高虫地区の企業誘致はさうとう日時が経っているが、未だ決まっていないということか、少なくとも工業団地を整備し、区画整理する際に事前に入居要望を聞き取り、それに見合った道路や給排水、送電計画等を整備するのが今度のやり方であるが、高虫はできてから誘致をするといったやり方なのか。であれば、なかなか見つからないのは当然である。そもそも工業団地整備推進に際して専門家を入れ、入居希望企業の参加のもとに計画を進めないと、出来てからでは動線や利活用上の制約から、手が上がらないことが通常である。また、工業団地の整備はサービスエリア周辺を現状維持とするなら、高虫以外には作る予定はないのか、農地や休耕地が増えてきている今日、根金地区も含め更なる工業団地整備に向けて検討すべきではないか。
B氏	農業系ゾーンでは、水田・畑等の農地は、農作物の供給や保水機能を有しています。農業生産空間として農業基盤の整備・農地の集約や耕作放棄地の解消を行い、農業の活性化を進めるとともに、観光農園や市民農園等の交流の場を整備・活用し、地域の活力を高めるまちづくりを進めます。とあるが、農業生産空間として農業基盤の整備・農地集約や耕作放棄地解消するとあるが、どのような方法を用いるか明記すべき。また、観光農園、市民農園についてもその利活用策の具体化を明記すべきではないか。
B氏	公園・緑地・文化スポーツゾーンでは、黒浜公園、西城沼公園、国指定史跡黒浜貝塚、総合市民体育館（パルシー）及び総合文化会館（ハストピア）から山ノ神沼周辺に至る区域は、スポーツや文化・芸術活動、生涯学習やボランティア活動の拠点となる地域として整備します。特に、市役所に隣接する国指定史跡黒浜貝塚周辺は、交通の利便性に優れているという立地条件を生かし、交流の拠点としても整備します。交流人口の増加を図り、蓮田市ならではの文化のかおるシンボルゾーンとして形成することで、賑わいを創出し、人々がふれあう連携・協働によるまちづくりを進めます。とあるが、それだけか。ハードとソフト、老若男女それぞれが生き生きと活用できるようなDX化も含め、もう少し踏み込んで検討をされたら如何か。
B氏	新蓮田サービスエリア周辺ゾーンでは、川島地区で整備を進めている東北自動車道蓮田サービスエリア（上り線）とスマートインターチェンジの周辺を、その立地条件を生かした新しいシティセールスの拠点として位置づけ、地域の活力を高めるまちづくりを進めます。とあるが、地域の活力を高めるまちづくりをどのように進めるのか、その具体策や方向を明示し、地域のどのような活力を高めるまちづくりとするのか明らかにすべき。

氏名	意見
B氏	大規模公共公益ゾーンでは、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院周辺を大規模公共公益ゾーンとし、自然と調和し時代に合った環境を創出することで、潤いのある自然・文化がかおるまちづくりを進めます。とあるが、既に整備が始まっている事業も存在していることから、これらを明記するとともに、最終的にどのような時代に合った環境を創出するのか、具体的な考えや方向を明示すべき。
B氏	産業集積拠点では、交通の利便性に優れているという立地条件を生かし、新たな産業の集積を検討します。企業の誘致を促進するとともに雇用の創出を図り、地域の活力を高めるまちを目指します。とあるが、工業系ゾーンとも重複する部分でもあるが、新たな産業の集積を検討するとする一方、企業の誘致を促進するというのは、言葉遊びである。従って、検討しつつ誘致促進するという矛盾するような記述はやめるべき。もっとまじめに産業集積に向けた誘致促進を具体化し、白岡市等と周回遅れの状態を少しでも改善していく方策と方向（5W1Hで）をまじめに示すべき。このことは、限られた立地拠点をもつ蓮田市ではあるが、他の自治体が相当先行しており、早くしないとニーズと場所性のマッチングが整わないとの問題意識を強く持っていることから、特に提起しておきたい。
B氏	道の駅整備拠点では、国道122号の一部、主要地方道さいたま栗橋線、駅周辺の幹線道路の沿道を沿道サービスゾーンとして位置づけ、沿道周辺の住宅地の環境に配慮しつつ、快適にアクセスできる利便性の高い沿道型サービス機能の充実を図ります。とあるが、道の駅については、現在国土交通省に登録されているものは1,198か所とされており、1,724自治体のうちほぼ各市町に1か所程度となっていること、また、道の駅は、地域の特産品の販売や郷土料理の提供など町興しの拠点にもなる要素を持っている一方、これらを充足するためには、地域特産品の開発、食事施設での特徴あるメニュー、更には広域から集まる拠点性と利便性、買い物や賑わいを演出するイベント等を含め、ソフト・ハード両面での具体的な検討をする必要がある。なお、これらを具備する道の駅はいまもって賑わいをみせているが、中には、場所性やサービス、特徴ある嗜好の稚拙さから、町おこしの拠点どころか重石にさえなる駅も存在しつつあることから、意識の高い若者、地元商工会青年部、農協等による早急な道の駅整備推進検討委員会を設置する等を示していただき、何年後に開業を目指すか具体化すべき。
B氏	6ページ以降には、基本政策の個別課題毎に施策を例示されているが、全体的に「努めて参ります」「進めて参ります」「推進します」といった抽象的な表現になっているものが多い。現状と課題は的を得た記述のものもあるが、基本目標は抽象的であることから少なくともKPIをいれることを基本とし、振り返って施策の効果が可視化できるようにして頂きたい。この手の施策は状況変化を踏まえ、不断的に見直すべき性格を備えているにも関わらず、施策効果を指標化しないと「やめられない、変更できない」といった柔軟性が確保できないことから、費用対効果を常に意識した行財政改革の視点からも、問題が多い。以上の視点について、基本政策の目標KPI化、施策の具体化（数値化）は必ず行ってほしい。

氏名	意見
B氏	<p>基本政策のうち施策をSDGsと紐づけして、整理しており、一見SDGs推進とも見えるが、そもそも、SDGsについて、蓮田市はどのような宣言をされておられるのでしょうか。蓮田市のSDGs宣言を私は見たことがありませんし、どのように推進するのか承知しておりません。そのような中で、個別施策にSDGsの17分野を当てはめた計画には、相当違和感を覚えます。やっている感を醸し出す効果だけで、中身がまったく見えません。そもそも、SDGsは自治体のみで行うものではなく、そこに住むすべての住民や自治体、商工会、企業、それぞれがその目的に合意し、協業して進めるものです。その理念と施策のつながりが見えないなかでのSDGsのデザイン挿入は、とてもおかしく思います。通常ですと、SDGsと施策、関係者、目標等を分野毎に鳥瞰し、皆が理解や参加・認識しやすい絵を作成し、この絵と参加者、施策、効果を可視化しながら、そのSDGsの課題への対応を自分事化しつつ進めることで、2030年目標に向けて意識を向けるようなことと思います。その意味で、SDGsの施策ページへの表記は誤解と誤認を生むと同時に、市民等のステークホルダーが参加意識を持ってないため、行政に単に依存することしか期待できません。従って、SDGsに向けての行動計画が浸透しない、できないものと言わざるを得ません。一度立ち止まって、このSDGsについては市に関わる全てのステークホルダーとの協業・共創を実現するようにして欲しいと思います。なお、参考までに端的でわかりやすい仕分けについて、以下、参考までに</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 企業をつくるを支える（SDGsの「経済」目標）産業・にぎわい、しごと・金融、交通・物流等</li><li>2. 個人のつかうを支える（SDGsの「社会」目標）観光・文化、教育・スポーツ、健康・医療、住民サービス等</li><li>3. 公共のつむぐを支える（SDGsの「環境/公共」目標）環境、レジリエンス・防災、行政サービス等を平時・有事に機能させるために、かかる施策とSDGsを紐付け市民・企業等参加型にてわかりやすい絵と具体策で、皆で協業・共創することを誘発するような取り組みへ。</li></ol> <p>以上、一市民の立場ではありますが、よりよい蓮田に向け、ご意見申し上げます。どうぞ宜しくお願いします。</p>